

会報 骨髓バンク



会報発行：骨髓バンクを支援するいばらきの会 <http://ibaraki.marrow.jp.net/>
 発行責任者：牛島英二 編集：境野紀子 伊井義人
 <事務局> 〒300-2622 茨城県つくば市要315-93 伊井方
 TEL：090-3087-9960 / FAX：029-864-3230
 E-mail：bmt-ibaraki-owner@egroups.co.jp

【平成23年度を振り返って】

会長 牛島 英二

会員の皆さん、いつも当会活動に積極的にご参加いただき、誠にありがとうございます。

今年度より2年ぶりに会長に復帰することになりました。また、永らく事務局長を務めていただいた福間さんが退任され、前会長の伊井さんが事務局長に就任されました。

前事務局長の福間さんには、当会の発展にご尽力いただき、これまで大変なご苦勞に心から感謝いたします。

私も今年で還暦を迎えることとなり、当会創立時のような元気はありませんが当会モットーの「気負わず、あせらず、できることから、楽しく」を真の意味で実践していく所存ですのでどうかよろしく願いいたします。

さて、昨年度のドナー登録会を振り返ってみますと、合計33回の開催で延べ登録者数は484名となり、過去2番目の好成績を残すことができました。平成21年度以来続いていた登録者数の低下傾向にも歯止めがかかりましたが、これも偏に県業務課を始め、各保健所ご担当者の皆様、ならびに血液センターの大変積極的なご指導・ご協力の賜物であり、心から御礼申し上げますとともに、会員各位の多大なるご尽力にも感謝いたします。

また、献血ルームでの登録者数も合計274名

となり、平成18年度より続いていた低下傾向に終止符を打ち、一昨年度に比べて2.4倍の大幅増加となりました。これは昨年6月より県内3ヶ所の献血ルームにおいて、骨髓バンクの広報活動を、県業務課のご指導により血液センターのご協力を得て実施したことが大きく寄与しました。

骨髓バンク事業は、昨年12月にドナー登録数40万人を達成しましたが、骨髓移植を希望する患者さんの約60%程度しか移植を受けられない現状は、30万人到達時とあまり変わりありません。今もなお多くの患者さんが骨髓バンクに登録され、骨髓移植を待ち望みながら移植を受けられない患者さんがまだまだ多くいらっしゃるから、当会独自に設定した全国目標100万人を目指して、これからも一人でも多くの県民の皆様にご登録していただけるよう努力して参る所存ですので、県ならびに血液センターにおかれましては今年度もよろしくご指導・ご協力いただけますようお願い申し上げます。

今年度も県ならびに各保健所のご尽力で30回のドナー登録会が予定されており、年度始めの計画分は既に実施が始まっています。ドナー登録会を円滑に実施するためには会員の皆様のご協力が不可欠です。「一人でも多く、一刻も早く患者さんの救命に寄与する」ことを胸に刻みつつ、一歩ずつ前を向いて活動してまいります。

平成24年度総会結果

(H24. 4. 21開催 於 くるみ屋)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 平成23年度活動報告…承認 | ・会報編集 小田倉孝夫 → 境野紀子 |
| 2. 平成23年度会計・会計監査報告…承認 | ・会計 福間明子 → 伊井陽子 |
| 3. 役員改選…承認 | ・その他の役員 変更なし |
| (23年度) (24年度) | 4. 平成24年度活動方針(案)…承認 |
| ・会長 伊井義人 → 牛島英二 | 5. 平成24年度予算(案)…承認 |
| ・事務局長 福間 究 → 伊井義人 | 6. その他 総会出席者：12名 |

※事務局長の「総会こぼれ話」は7ページをご覧ください。

ドナー登録者100万人をめざして！

平成24年度献血併行型登録会日程

登録会での出会いがドナー提供につながります。30回の貴重なチャンスを活かして、ドナー仲間を増やしましょう。

月 日	場 所	市町村名	担当保健所	地区普及 広報委員	登録会 回数
4月20日(金)	岩瀬中央公民館	桜川市	筑西(深澤)	細谷	1回
5月9日(水)	ララルー	潮来市	潮来(高安)	葭原	3回
5月23日(水)	キヤノン(株)阿見事業所	阿見町	土浦(金子)	葭原	
5月29日(火)	牛久市保健センター	牛久市	竜ヶ崎(中島)	牛島	
6月6日(水)	常陸太田市役所	常陸太田市	常陸大宮(悉知)	伊井	6回
6月13日(水)	キヤノン(株)取手事業所	取手市	竜ヶ崎(中島)	牛島	
6月20日(水)	筑波大学	つくば市	つくば(永作)	伊井	
6月21日(木)	下妻市役所	下妻市	筑西(深澤)	細谷	
6月25日(月)	ジョイフル山新	鉾田市	潮来(高安)	葭原	
6月28日(木)	千代田ショッピングモール	かすみがうら市	土浦(金子)	葭原	
7月6日(金)	(株)日立製作所 情報制御システム社	日立市	日立(藤田)	牛島	4回
7月9日(月)	鹿島石油	神栖市	潮来(高安)	葭原	
7月10日(火)	三桜工業(株)古河工場	古河市	古河(児玉)	牛島	
7月26日(木)	航空自衛隊百里基地	小美玉市	水戸(杉山)	伊井	
8月7日(火)	常総市役所 石下庁舎	常総市	筑西(深澤)	細谷	2回
8月8日(水)	カインズホーム玉造店	行方市	潮来(高安)	葭原	
9月18日(火)	(株)日立製作所 日立事業所	日立市	日立(藤田)	牛島	2回
9月25日(火)	(株)小松製作所 茨城工場 厚生棟前	ひたちなか市	常陸大宮(悉知)	伊井	
10月3日(水)	住友金属(鹿連会)	鹿嶋市	潮来(高安)	葭原	5回
10月4日(木)	流通経済大学	龍ヶ崎市	竜ヶ崎(中島)	牛島	
10月17日(水)	筑波大学	つくば市	つくば(永作)	伊井	
10月28日(日)	さわやかフェア2012	阿見町	土浦(金子)	葭原	
10月未定	建設フェスタ	ひたちなか市	常陸大宮(悉知)	伊井	
11月2日(金)	(株)カワチ薬品古河店	古河市	古河(児玉)	牛島	5回
11月14日(水)	筑西市役所	筑西市	筑西(深澤)	細谷	
11月16日(金)	石岡市役所本庁舎	石岡市	土浦(金子)	葭原	
11月27日(火)	那珂市中央公民館	那珂市	常陸大宮(悉知)	伊井	
11月未定	茨城大学 茨苑祭	水戸市	水戸(杉山)	伊井	
12月27日(木)	茨城県庁	水戸市	水戸(杉山)	伊井	1回
3月8日(金)	カインズホームスーパーセンター結城店	結城市	筑西(深澤)	細谷	1回

計 30回

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

「命のアサガオ」 仮設住宅で心の支援

ガンや白血病などの患者さん用に、フェイスタオルで帽子を作る「タオル帽子会あいづ」というボランティア団体が福島県会津若松市にあります。茨城県でも県立こども病院へかわいい帽子を提供して下さっています。

その代表の五十嵐まりいさんから、命のアサガオの要請がありました。

会津若松市には、原発事故で避難を余儀なくされている大熊町の仮設住宅に、命のアサガオでグリーンカーテンを作りたい。ということでした。

大熊町の方々は、土いじりができなくてストレスを感じているようです。そのため、去年はプランターでゴーヤを育てたそうですが、今年はアサガオを育てようという話がたため、当会の命のアサガオ活動を推薦して

下さったということです。

福島の会（福島県骨髄バンク推進連絡協議会）のお膝元でいばらきの会のアサガオ活動をとというのも気が引けましたが、陽田会長から「この活動には縄張りなどありません」という温かいお言葉もいただきましたので、喜んでお引き受けすることにいたしました。

アサガオの種6000粒（6粒入り×1000袋）とともに、大熊町の皆さまに宛てた手紙（下記掲載）をお渡したところ、すぐに五十嵐さんらの手で大熊町の幼小中学校や社会福祉協議会の方に手渡されました。

土に親しむこととアサガオのたくさんの花で、大熊町の皆さんの笑顔の花が満開になること願うばかりです。

事務局長 伊井義人

大熊町の皆様へ

はじめまして

私たち「骨髄バンクを支援するいばらきの会」は、白血病など血液難病に苦しむ患者さんの「生きるチャンス」を広げるために、骨髄を提供して下さるドナー登録者の拡大に向けて、茨城県内で活動している団体です。

私たちの活動の一環に、この「命のアサガオ」運動があります。これは、白血病により7歳で亡くなった「こうすけ君」が育てていたアサガオを、「命のアサガオ」として全国に広めることによって、骨髄バンクを理解していただくという新潟発祥の普及啓発活動です。

皆様は、単純に言葉では言い表せませんが、大震災に加え原発事故により、避難を余儀なくされているという大変な苦難に直面されておられ、本当に心が痛みます。

皆様方への直接的なご支援というのは、当会としてはなかなか難しい面もございますが、この夏に向けてグリーンカーテンを育てるという意味合いでも、この「命のアサガオ」を育てていただければと思います。

また、沢山の花を咲かせることで、皆様のお心が少しでも和んでいただければ幸いです。

こうすけ君も、空の上から「おかあさん、ぼくのアサガオいっぱい咲いてるね。」と、きっと笑顔で喜んでくれることでしょう。

秋になり、多くの種が採れるかと思いますが、余った種につきましては、また翌年の骨髄バンク普及啓発に使わせていただけたら、なお有り難く思います。

また、ひと袋に6粒ほどしか入れてございますが、これは限りある種を少しでも多くの方に配れるよう少なめにさせていただいております。ご理解をいただければと思います。

最後になりましたが、皆様の笑顔とご健康を心よりお祈り申し上げます。

平成24年4月29日
骨髄バンクを支援するいばらきの会
事務局長 伊井義人

福島民報より
(H24.5.9掲載)



ドナー登録者100万人をめざして！

H24. 2月～5月 茨城県内活動報告

●2月9日 ヨークベニマルひたちなか店献血併行登録会

ドナー登録者数 11名（その他説明のみ6名）
献血者数 34名（受付49名）
参加者 常陸大宮保健所：悉知様
説明員 葭原さん、伊井陽子、伊井義人
地区普及広報委員 伊井義人



朝から晴天となりましたが、冷たい風が時折強く吹く一日でした。
寒さ対策のため、血液センターさんのお計らいで、献血テントにつながるようにバンクのテントを張らせていただき、一緒に横幕で風を遮って頂きました。そのおかげでストーブのぬくもりもテント内に残り、陽が差す時はポカポカと暖かく感じられるほどでした。

そんな中、午前中の登録者はコンスタントに5名と、なかなかのスタートでした。

午後になってからもバンク受付には順調にお越しいただきましたが、中には説明を聞いた後、家族に相談とか、休みが取れないとか、採取時が怖くなったとかで、説明のみの方が続出し、結果は11名でした。

屋外の寒い中での登録会でしたが、あまり寒さを感じず登録会を終えられたのは、血液センターの皆様のおかげです。皆様のご配慮に感謝感謝です。

ありがとうございました。

（伊井義人）

●3月19日 笠間市役所献血併行登録会

ドナー登録者数 17名（その他説明のみ1名）
献血者数 39名（受付50名）
参加者 水戸保健所：飯村様、小森様
説明員 葭原さん、長尾さん、川井さん、伊井陽子、伊井義人
地区普及広報委員 伊井義人



この笠間市役所登録会は、23年度最終の登録会でした。ということもあり、少々意気込んで臨みましたが、午前中は出だして1名、その後はさっぱりで午前終了間際に1名の計2名ということで、この調子では午後も期待できないかなあと感じていました。

ところが、午後になって若手の方々が続々と献血に来られ、市民の方々や市職員の方々が大勢登録してくださいました。

また、有り難いことに、血液センターの方がお二人も登録してくだ

さったことに感謝です。

23年度はこれで終了ですが、一年間、皆さまには本当にお世話になりました。

24年度も引き続きよろしくお願いいたします。

（伊井義人）



気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

H24. 2月～5月 茨城県内活動報告

●4月20日 桜川市岩瀬中央公民館献血併行登録会

ドナー登録者数 5名（その他説明のみ1名）
献血者数 97名（受付121名）
参加者 筑西保健所：深沢様
説明員 長尾さん、葭原健治
地区普及広報委員 葭原健治

今年度最初の桜川市岩瀬中央公民館登録会は、岩瀬ライオンズクラブ、下館法人会桜川地区会の協力のもとに献血車2台で行われました。

昨年度は登録者17名でしたので今回も多くの方の登録を期待し、少々意気込んで臨みましたが、登録者5名、説明のみ1名、既登録者6名という結果に終わりました。

午前中の、開始直後は多くの方が献血に訪れましたがバンク登録者はありませんでしたので、どうしたのかなと??

お昼前に、広報車で献血の呼びかけをしたとのことで、その結果もと思いますが、交代で昼食をとっている間に、説明のみの方がおいでになり、そのあと3時くらいまでの間に5名の方の登録がありました。そのあと終了まで閑散としてしまいました。

ライオンズクラブの方にお聞きしましたら、4月は、献血される方も毎回少ないとのことでした。昨年度この会場での登録会は11月でしたので多かったのかなという感じでした。

関係各位の皆様今年度もよろしくお願いたします。
最後に、参加された皆様ありがとうございました。

（葭原健治）

●5月9日 ショッピングプラザララー献血併行登録会

ドナー登録者数 6名（受付7名、その他説明のみ3名）
献血者数 28名（受付34名）
参加者 潮来保健所：高安様
説明員 葭原健治
協力者 潮来ライオンズクラブ
地区普及広報委員 葭原健治

一日中どんよりとした天気、午後3時頃からぽつりぽつりと雨が落ちるといような献血、登録会でした。

午前中の登録者はなし、献血受け付けは20名弱で午後を期待して前半を終了しました。

午後それほど出足の良いものではありませんでしたが、ララー店内に、献血、バンク登録のお願いアナウンスが昼休み、午後に行われ、最終的には登録者6名、説明のみ3名、既登録者1名がありました。

献血受け付けは、あまり伸びず待ち時間の少ない献血会場でした。

最後に、参加・協力していただきました皆様ありがとうございました。

（葭原健治）

ドナー登録者100万人をめざして！

H24. 2月～5月 茨城県内活動報告

●5月23日 キヤノン(株)阿見事業所献血併行登録会

ドナー登録者数 23名(受付25名、その他説明のみ2名、既登録者5名)
献血者数 79名(受付96名)
参加者 土浦保健所：金子様
説明員 長尾さん、葭原健治
地区普及広報委員 葭原健治

久々の五月晴れのよい天気でしたが、受付業務は室内で行ったため気持ちよさはあまり実感できませんでした。午前中は、企業での献血会としては少ないように感じましたが、5名の方が骨髄バンク登録をしてくれました。

午後は、12時半からの受付で昼休みにもかかわらず低調な滑り出しでしたが、13時過ぎから2、3人ずつ複数で献血会場に訪れるようになり、受付、採血に待ち時間多くなりました。そんな中、バンク登録を快く受けていただける方も増え説明員2名が2名ずつ同時に説明するという状態が3時まで続きました。

ということで、献血に訪れた方全員にバンク登録の案内をできなかったようでした。今回は、バンク受付を待っていただくという申し訳のないことがあり、嬉しい悲鳴を上げていました。

今回登録会に参加・協力していただきました皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

(葭原健治)

事務局長の

総会ごぼれ話

昨年に引き続きくみ屋さんでの開催となりました。今年の総会はいつものはずのアイドルであり看板犬のクリちゃんが、昨年8月末に14歳と8ヶ月で永眠されたとのことで、クリちゃんのないんだかポカンと穴の空いたような、心情的に淋しい総会でした。総会での議事は淡々と進んで行き、最後に新役員の挨拶で無事締めることができました。

総会後は、説明員研修も行い、3名の方が再取得されることとなりました。研修該当外の方々は、牛島講師のもとペンシルバルーン講習を行い、腕を磨いていらっしゃいました。講習終了後は、クリちゃんの代わりにいろんな色・形のワンちゃんが沢山出ていました。

懇親会では、新会員の大澤さんのドナー経験談などに花が咲き、しばし時間が経つのを忘れてしまうほどでした。来年はもっと沢山の参加者があることを願いつつ、賑やかな夜が更けていきました。(事務局長 伊井義人)

小田倉前編集長、 8年間の思いを語る

2004年7月の会報25号から2012年1月の会報48号までの会報編集作業を担当しておりましたが、この度、その職務を境野さんにバトンタッチさせて頂くことになりました。

気がついたら約8年間もの長い間担当していたことになりませんが、振り返ればあつという間というのが正直なところですよ。

中々原稿がもらえずイライラしたり・・・笑

ネタ作りに悩んだり・・・

空白スペースをなるべく作らないようにイラストを探してきたり・・・

微妙にページ数が中途半端になるため、こっそり文字の大きさを調整したり(笑)

よく頑張ったので自分で自分を褒めてあげたいです(嘘です。。。笑)

自分よりも、事務局を勤めてくださった福間さんの方が、もっともっと大変だったと、思います。印刷&発送と長い間お疲れ様でした。

今号より境野編集長がデビューされますが、皆さん、バシバシ原稿を送って充実した会報作りにご協力して欲しいという事を切に願います次第です。

長年の編集長のわがままにお付き合いただきありがとうございました。(小田倉孝夫)

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

骨髄バンクのボランティアを応援してください

骨髄バンクを支援するいばらきの会では、茨城県内で骨髄バンクの普及啓発をボランティアで行っています。活動資金は皆さまの善意の寄付によってまかなわれています。

ボランティア活動への応援をお待ちしております。なお、ご面倒でもご寄付と会費の納入は郵便振替でお願いします。

郵便振替口座名義：00110-3-127575

加入者名義：骨髄バンクを支援するいばらきの会

事務局からのお知らせ

心のこもったご寄付をありがとうございました。
(2012.1.1~)

笑和会 (2千円)	長尾洋子 (8千円)
大屋隆子 (3千円)	細谷栄一 (8千円)
牛島英二 (2千円)	伊井義人 (2千円)
山崎揚久・晃子 (6千円)	※敬称略

ドナー登録は18歳から54歳までの健康な方ならどなたでも登録ができます。1人でも多くの皆様の御協力をお願いいたします。また、骨髄移植推進財団ホームページからも事前のお申し込みが可能となりました。ドナー登録についての詳しい説明もございますので是非ご覧ください。

URL <http://www.jmdp.or.jp/index.html>

【編集後記】

今号より、会報の編集を担当させていただくことになりました境野です。

登録会にもなかなか参加できず、今まで強いて貢献(?)できたものといえば、各地のマラソン大会でバンクPRのタスキをかけて走る…これくらいでした。

編集担当となることで、少しでもみなさんのお役に立てれば嬉しいです。

不慣れな面もあり、スムーズな編集・発行へと結びつくにはまだまだ時間がかかるかもしれませんが、会のモットーを信条に努めていきますので、よろしく願いいたします!

(編集担当 境野紀子)

「私と釣り」

私の趣味の一つに釣りがある。釣りを始めたのは小学校低学年の頃、自宅近くの小川で小ブナ釣りをしたのが初めてだったと記憶している。

当時住んでいた九州・福岡の自宅周辺は全くの田舎で、水田が広がり、その間を流れる小川にかかる橋の上から、泳ぐ小魚を見ては心を躍らせたものである。小さい頃は川に入って小魚をすくい取っていたが、やがて魚を「釣る」ということを覚え、魚がかかった時のあの手応え、手に伝わる感触に魅了されてすっかりそのトリコとなってしまった。釣りの場所も川→池→海へと移っていき、釣り道具も子供の頃の「竹竿にウキとハリ」を手始めに、社会人となってからは投げ竿や磯竿にリールへと進歩していった。

私は船酔いする体質のため、船釣り(遊漁船に乗って海上でする釣り)は残念ながらできないので、もっぱら海岸からの投げ釣りや防波堤・岸壁などからの磯釣りを専門としている。

釣り場所は、横浜港内の防波堤・岸壁や三浦半島各所を釣り歩き、現在は単身赴任先の千葉房総半島各所がメインとなっている。もう5年ほど前の話だが、外房のある港の防波堤で立て続けに40cm弱のクロダイを2尾釣り上げた時は感激も最高潮で、釣果のクロダイ2尾は魚拓にして自宅に飾っている。それを見る度に釣り上げた時の手応えが今でも鮮やかによみがえってくる。

釣りは短気な性格の人ほど上達すると言われている。短気な人は、魚が釣れなければすぐさま道具や仕掛けを変え、エサを変え、場所を変えて何とか釣ろうと努力するため、結果としてそれが釣果に結びつくというわけだ。釣りの楽しさはもちろん釣果をたくさん得ることだが、全く釣れなくても大海原を前にして、波音を聞きながら釣りに集中することで日常の喧騒を忘れてストレス解消になる。もちろん、幸運にも目的の魚が釣れれば、持ち帰って自分で調理し、刺身で熱燗を一杯、となればもう言うことなしである。(会長 牛島英二)

ドナー登録者100万人をめざして!



Illustration by 浅生ハルミン

日本骨髄バンク骨髄提供希望者(ドナー)登録者数:409,096人(県内7,883人)

骨髄移植希望者(患者数):3,077人(国内1,565人、県内29人)

バンクを通じての移植例数:14,152例(海外211例、県内移植数232例、県内採取数278例)

(2012年4月末現在)

(財)骨髄移植推進財団 ホームページ <http://www.jmdp.or.jp>

ドナー登録についてのご質問・お問い合わせは

財団フリーダイヤル 0120-445-445 または ドナーズネット <http://donorsnet.net> まで

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！